

複数人乗船の船舶事故多発！

令和6年3月31日(日)、岩手県洋野町沖で、航行中のプレジャーボート(船長及び乗船者計6人乗船)が自船の推進器(プロペラ)に定置網のロープを絡める乗揚げ事故が発生し、同プレジャーボートの船長から八戸海上保安部あて救助要請がありました。

海上保安庁巡視艇及び水難救済会による救助活動により、船長を除く乗船者を漁港へと搬送し、その後、プレジャーボートも自力航行が可能となりました。

また、同日、岩手県大船渡市綾里埼沖で遊漁船(船長及び釣り客計4名乗船)で機関故障が発生し、地元漁船により救助される事案も発生しました。



双方の事故は乗船者、船舶ともに無事救助されたものの、一歩間違えば人命に関わる大きな事故に繋がる可能性もありました。

【乗揚げや機関故障を防止するためのポイント】

出航前には必ず発航前検査を実施し、機関や燃料等の確認、気象・海象の把握、最新の海図等公刊情報による水路情報の収集をしましょう。

適切な見張りを実施し、岩場やブイなどの目印のある漁具等を回避しましょう。



発航前検査の方法は
二次元コードで確認しよう！

第二管区海上保安本部

海の安全推進本部

海のもしもは118番

宮城県塩釜市貞山通3-4-1 (代表)022-363-0111

ウォーターセーフティガイド



マリレ情報よろず屋

